



2学期のゴールへむけて ~ご協力ありがとうございました~

猛暑の中スタートした2学期でしたが、あの頃の暑さを忘れてしまうほどの寒い日が続いています。コロナ禍の影響を受け、これまでにない長い2学期になりました。合唱や話し合い活動など、感染防止に向け活動が制限されていますが、こうした中、どのクラスでも子どもたちが真剣に学習に取り組んで力を伸ばしてきました。2学期の始まりに比べ、できるようになったことが増えたことと思います。ゴールまでの1週間、2学期を振り返り、子どもたちの成長を確認し、さらに力を伸ばしていきたいと思ひます。

あいさつNO.1を目指して



寒い朝が続いていますが、登校時、校門は子どもたちの元気なあいさつで賑わいます。高学年のあいさつ運動も定着しています。コロナ禍の中「大きな声で」はできませんが、会釈する児童や、笑顔で明るいあいさつができる児童も増えてきています。ご家庭の協力があればこそです。子どもたちの健康管理や準備物やアンケートなど、1学期間ご協力ありがとうございました。

幼小、小中での連携が目指すもの

常盤小を含む総社西中ブロックでは、「小1プロブレム」「中1ギャップ」などの防止を含む滑らかな接続をねらい連携に力を入れ、成果も現れています。5年生と幼稚園児とのピア・サポートは児童の心を豊かにします。また、中学生による2年生への学習サポートでは、「中学生の力をかりて九九マスターになろう」のめあてで楽しく学習に取り組むことができていました。



楽しい学校生活を！



ユニセフが38か国を対象に子どもの幸福度を調査した結果が9月に報じられました。報道によると、日本は身体的健康は1位、読解力・数学力は5位で、経済的にも比較的恵まれているのですが、学校のいじめや家庭内の不和などを理由に「精神的な幸福度」が37位でした。幸福感の低さに驚くとともに、原因のひとつであるいじめへの対策が喫緊の課題であると感じました。12月の品格目標は「生命尊重」。そして12月10日は世界人権デーでした。11月30日のzoom朝礼では、調査の結果を踏まえ、いじめ防止と人権について子どもたちに話をしました。常盤小では、ふだんから人権を大切にしたい教育を進めています。それに加えて2学期は「人権標語」、友達の良いところを葉っぱに記す「なかよしツリー」、「学級の人権目標」などの取組を行い、いじめ予防と人権尊重の心の育成をねらいました。

最新の厚生労働省全国家庭児童調査では、小5~6年児童に「いじめを見たときどうするか」のアンケートを実施した結果、「やめろと言って止めようとする」23% (14%) 「先生に知らせる」50% (19%) 「友達に相談する」20% (47%) 「何もしない」7% (20%) < ()内は高校生の回答>となっています。止めたり先生に知らせたりすることができればいいのですが、学年が上がるにつれ、「何もしない」の回答が増えていくのが気になります。

困っている子がいたらその子の心情を思いやり、自分のできることを考えて実行できる児童の育成をねらっています。「止める」「連絡する」「寄り添う」「かばう・守る」など、将来にわたってプラスの行動ができることが大切だと思います。「いじめはどこでもおこるもの」が現在の基本的な考えですが、人権感覚をもった児童の育成と、いじめの未然防止・早期解決に全力で取り組んでいきたいと思ひます。引き続きご協力よろしくお願ひいたします。

さまざまな学び・さまざまな体験活動を通して成長する子どもたち

海の学習



音楽発表会



生活科の学習



琴の体験学習

2学期は外部講師も招へい可能になり、メディアについての学習や、様々な体験活動を実施しました。また、教科学習では、めあてのもたせ方などを工夫し、児童が主体となって学習する授業を目指してきました。体育参観日、修学旅行、海の学習、遠足、陸上記録会など以前とは異なる形となりましたが、行事も実施することができました。こうした学習や活動を通し、クラスの団結が深まり、児童一人一人の成長を感じることが出来ます。具体的な様子については、終業式で手渡す通知表でお知らせします。お子様をほめる材料に使っていただければと思ひます。2学期の間、学校教育にご理解・ご協力本当にありがとうございました。コロナの感染拡大が気になりますが、冬休みをお子様と共に、どうぞ健康で有意義に楽しくお過ごしください。新年7日(木)の始業式を楽しみにしています。